



# 協栄産業株式会社

## ペットボトルリサイクルは、身近で重要なSDGsアクションです!

ペットボトルリサイクルで日本初の「ボトル to ボトル」を実現した協栄産業株式会社。全国ユース環境ネットワークでは、今年も新型コロナウイルスの影響で、協栄産業での高校生企業環境研修を実施できませんでした。そこで、ユース事務局スタッフが、ペットボトルリサイクルについていろいろとお話を聞いてみました。

<ユース事務局 取材>

### ペットボトルリサイクルについて聞いてみました。



**Q1** ペットボトルって、どのようにリサイクルされているんですか？ また、ペットボトルリサイクルにおいて、協栄産業の日本初、世界初の「ボトルtoボトル」と「FtoP」って？

回収したペットボトルを選別、破碎、アルカリ洗浄し、乾燥をさせてフレークにします。それを熔融・ろ過して目に見えない不純物の除去と物性回復を行い、高純度ペレットに加工し、もう一度ペットボトルへと生まれ変わらせます。これが2011年に日本で初めて開発した「ボトルtoボトル技術」です。この新技術は約63%ものCO<sub>2</sub>削減効果に加え、ペットボトルを再びペットボトルとして繰り返し使用し続けることを可能にしました。また、2018年には、従来のリサイクル工程を半減する「FtoPダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて開発しました。弊社の新技術により製造された再生原料は各飲料メーカーの皆さまに採用いただいております。

**Q2** とても環境に良い取り組みですね！ 更には2020年に新しく西日本にも拠点を作られたとお聞きしましたが？

西日本PETボトルMRセンターは、中部・近畿地区で初の「ボトルtoボトル」用原料の製造を一貫して行う工場です。「ボトルtoボトル」で協業しているJ&T環境とのペットボトルリサイクルの運営実績を生かし、国内全体の需要に応える生産体制と安定供給体制を構築します。こちらの工場は、今までは「ボトル to ボトル」の原料として利用が難しかった自動販売機、オフィス、コンビニ、駅構内、公共施設等から排出・回収されるペットボトルの再資源化も可能にする工場で、ペットボトル資源の更なる国内循環の拡大を目指しています。



**Q3** 御社の取り組みは、身近で重要なSDGsアクションかと存じますが、具体的にどのような目標に貢献されるのでしょうか。

ペットボトルリサイクルは誰でもできるSDGsの取り組みであり、5つの目標達成に大きく貢献できると考えております。特に、同じ用途で繰り返し利用する「ボトルtoボトル」という水平リサイクルの取り組みは、環境負荷低減や持続可能性に優れています。今後もステークホルダーの皆さまのご協力を賜りながら、「持続可能な社会の実現」に向け、国内資源循環の拡大に取り組んでまいります。

### 弊社から高校生(ユース)の皆さまにお伝えしたいこと

ペットボトルは持続可能な社会を実現させる貴重な資源です。より多くのペットボトルを資源として生まれ変わらせるためには、外出先等あらゆる場所で皆さまに「飲み終わったペットボトルのキャップ・ラベルを外し、軽く水で注ぐ」という日頃からのご協力が必要不可欠です。未来の子供達に豊かな地球環境を繋ぐために、そして持続可能な社会の実現に向けて、これからもペットボトルリサイクルへのご協力をお願い申し上げます。



協栄産業は、ユースの環境活動を応援しています。

